

コミュニティ・スクールだより

氷川町（組合）
コミュニティ・スクール
連携協議会事務局 上野
平成29年11月27日
発行 第4号



第12回次世代育成推進フォーラムin氷川町

未来を担う氷川っ子 地域総ぐるみでの子育てを！



11月22日（水）13：20から氷川町公民館に於いて、地域住民ら約170名が参加し、第12回次世代育成推進フォーラムが開催されました。このフォーラムは、氷川町（組合）教育委員会、氷川町教育研究会、氷川町PTA連絡協議会は合同で、「次世代」を育てる教育環境を醸成する目的で行い、今年は12回目になります。

まず、教育長の主催者あいさつでは、「本町の教育の根幹であるコミュニティ・スクールは、校長先生が学校の課題を明確にし、学校運営協議会で熟議を重ね、課題解決に向けて委員が自ら活動したり、3人の地域教育コーディネーターが活動を展開しています。子どもたちは、地域行事への参加や体験活動を通して、ふるさと愛が育っています。本日は、パネルディスカッションや木村参事官の講演を通して、地域総ぐるみの教育を考える機会にしたいと思います。」とありました。続いて藤本町長の来賓あいさつが行われました。その後、氷川中2年生山根史央さんのバイオリン演奏がありました。素晴らしいバイオリンの音色に会場は、しばしうっとりでした。続いて、初めての試みで各団体代表者の方々によるパネルディスカッション：テーマ「地域の子どもは地域で育てる」が行われました。パネラーの方々の地域の子どもたちへの熱い思いや、これまでご苦労された取り組みの話に、会場の皆様が真剣に耳を傾けられていました。詳細は、裏面に載せています。

最後に、文部科学省 初等中等教育局参事官木村直人様の講演「『地域に開かれた学校』から『地域とともにある学校』へ」が行われ、何故コミュニティ・スクールを進めるのかをわかりやすく説明されました。「町づくりの主役は町民、この町を良くするために、次世代を担う笑顔あふれる子どもたちを育てるために、学校と地域が共通の目標を持ち、学校の課題解決を目指して、持続可能なシステム“コミュニティ・スクール”を基盤に社会総掛かりで教育に取り組んで行きましょう。」と語られました。

このフォーラムで学んだことを氷川町の子どもたちの健やかな成長のために、町の未来のために学校と地域の連携・協働でこれからも取り組んで行きたいと思えます。



藤本町長の挨拶



太田教育長の挨拶



山根さんのバイオリン演奏



パネルディスカッション

テーマ「地域の子どもは地域で育てる」

～氷川町の教育力をCSに結集しよう～

ねらい：今、学校現場の課題は、複雑多様化し、学校だけでは、教育が困難な時代になっている。学校を応援していただいている町の社会教育団体が一堂に会して、その地域の教育力をコミュニティ・スクールに結集し、地域総ぐるみの教育の実現をめざす。

進行役は、八代教育事務所 福田社教主事。パネラーは、学校代表：竜北東小吉永校長 町PTA連絡協議会代表木下さん 婦人会長黒田さん 民生委員協議会長中園さん 町CS連携協議会長四宮さん。以下はパネラーの発言要約です。

①竜北東小吉永校長 学校とCSが課題を共有し、教育目標達成のために支援してもらっている。梨マラソンの取組や道徳の授業支援で子どもたちにふるさと愛や生きる力がついている。地域の支援で成果が上がっている。課題は、「誰と」「何を」「どのように」進めて行くかが課題。

②PTA木下 町P連の紹介。地域を愛する子どもを育てるためにPTAも取組をしている。特にフッ化物洗口のボランティアをしているが、むし歯の保有率が高く、治療率が低いのが課題。家庭の問題でもあるし、今後改善にむけ積極的に取り組んでいきたい。

③婦人会黒田 婦人会は、青少年教育を大きな柱としていて、登下校の安全見守り・あいさつ運動・様々な授業や行事のゲストティーチャーなど支援している。現在は、町内すべての子どもの命を守るために防災ずきん作りに取り組んでいる。学校のCS組織に婦人会員を活用して欲しい。

④中園児童・民生委員 CS委員として活動していて、特にあいさつ運動やフッ化物洗口に積極的に関わっている。また、登校できない氷川っ子をどの様に支えられるか、少しでも役に立てればと思っている。

⑤四宮CS連携会長 町全体のあいさつ運動の取組を報告。5校のCS活動の紹介。特に本年は学校の課題解決にむけてCS委員が主体的に、また各校特色ある取組がなされている。本日のフォーラムを契機にCSが活性化し、CSのすそのを住民全体に広げていきたい。



会場からは、○北野津地区の防災訓練の取組（勝枝CS委員）○梨マラソンのうちの応援取組（古閑コーディネーター）○竜中校区の子ども 110 番の取組（竜中伊藤CS会長）○地域学校協働本部の学校支援や家庭教育支援やふるさと学の取組（宮村コーディネーター）の報告がありました。学校職員からは、地域から多くの支援をいただいていることへの感謝の気持ちが出されました。なお、時間の都合上、老人会の見守り隊の取組等紹介できなかったことや木村参事官の講演についての質問等の時間を設けられなかったことをお詫びいたします。パネラーの方々や進行役を務められた福田先生、浅野統括コーディネーターら何度も打ち合わせ会に参加いただき、多くの方にお世話になりました。これを機会に今後CSの取組が充実していき、来年のフォーラムではもっと深められることを目指したいと思えます。地域の皆様、今後ご支援・ご協力よろしく申し上げます。



パネラーの発表



パネルディスカッション



文部科学省木村参事官の講演